きょうされん
第36回全国大会 in 東北・ふくしま

USTREAM　配信してますよ～。
ユーストリーム
http://www.ustream.tv/channel/kyousaren-zenkokutaikai-2013
ツイッター
http://twitter.com/2013_fukushima

（中通りの）ナカマン

番組配信スケジュール
2013年9月22日（日曜日）
09:00～12:00 利用者フォーラム 「つながる」
13:00～14:50 一般公開特別シンポジウム
15:00～15:30 まとめ・閉会式

＜特別協賛＞
FUJI xerox
富士ゼロックス福島株式会社

公開特別シンポジウム
支えあう、地域、人権、そして未来

特別シンポジウムでは、アクセスホームさくらの渋谷久美子さん、福島の子どもたちを守る法律家ネットワークの河崎建一郎さん、JDF被災地障がい者支援センターふくしまの元事務局長の和田庄司さん、福島原発事故告訴団の代表の武藤類子さんが、それぞれの立場で話されました。渋谷さんは原発事故がもたらした事について、和田さんからは障がいを持つ人の状況について、河崎さんからは苦悩する住民たち、武藤さんからは反原発活動で見えて来たことが語られ、2年半経ってなお深刻になってきている状況について、討議しました。障がいを持つ人の暮らしは元に戻らず、不足する職員の数とスキルアップが求められる状況にあります。今、どのような支援が必要なのか、みんなで話し合いました。

誰もが安心して生きるために何が必要なのか？武藤さんは、原発との関わりと命を守ることが大切であると話され、和田さんは、地球規模の新しい仕組み作りが必要ではないかと提言し、それぞれのシンポジストから、将来に向けての提言がありました。

閉会行事では、きょうされんの西川副理事長からお話があり、大会アピールをNPO法人コーヒータイムで働く志賀千鶴子さんが読み上げ、採択されました。実行委員長の大和田新さんから、次回開催される神奈川支部に向けてエールが送られ、東北ふくしま大会の思いが込められたタペストリーと大会旗が手渡されました。

障害のある人に向き合う
すべての人の手に届けたい

障害のある人に
真によりそう
「相談支援」とは…
■700円（税込）
■ A5判
■ 92ページ
総合案内横にて絶賛販売中！

ＮＥＸＴの文字には、南相馬ファクトリー（ふたばの里）が製作したバッチが散りばめられて、思いは次回の神奈川に引き継がれました。すばらしい大会になりました。
参加された皆さん、準備をしてきた東北の仲間たち、ありがとうございました！

会津（あかべこ）コース

会津Aコースの仲間は、野口英世記念館に向かい、それから白虎隊の剣舞を見ました。白虎隊は、幕末の会津戦争で政府軍と戦った若者たちで、悲しい歴史をテーマにしたものです。みんなで、赤べこの絵付けを行いましたが、皆さん、楽しそうに絵付けをしました。会津は、NHKの大河ドラマ「八重の桜」で、その話が知られるところとなりましたが、舞台セットが展示してある記念館を見学し、赤瓦の鶴ヶ城を見学しました。会津の歴史を感じながらの視察観光になりました。

赤べこの絵付け体験

会津（飯盛山）コース

白虎隊の剣舞

会津Bコースは、まず飯盛山に向かいました。飯盛山は、白虎隊が自刃した場所です。江戸時代、戊辰戦争で、新政府軍と幕府方の会津藩が戦った会津戦争の時、会津藩の少年たちの白虎隊が、飯盛山に逃れ、城下にあがった火を落城と錯覚し自刃したとされています。白虎隊の19人の若武者の墓に、手を合わせました。

その後、鶴ヶ城と野口英世記念館を見ました。野口英世は、福島県生まれの細菌学者で黄熱病や梅毒等の研究で、1,000円札のモデルになったほど有名な学者です。母が英世の事を思って書いた手紙にジーンときました。

いわきコース

朝早く出発したバスは、磐越道をいわき方面に向かいました。高速から降りて、まず向かったのが、いわき市平薄磯にある塩屋埼灯台です。東日本大震災で大きな被害にあった地域ですが、故美空ひばりさんが歌った「みだれ髪」の塩屋埼がモチーフであり、灯台のたもとに立つ「みだれ髪」歌碑にたくさんの人が訪れています。慰霊碑の前に立つと、ひばりさんの曲が流れました。また、薄磯で津波により亡くなった小学生、鈴木姫花さんがデザインしたハンカチのお話は印象深いものでした。

「アクアマリンふくしま」前に積まれた瓦礫

「アクアマリンふくしま」は、いわき市にある水族館ですが、津波で被害を受け、ほとんどの魚が死んでしまいました。しかし、スタッフと支援者の懸命の努力で、営業を再開していました。「ららみゅう」で食事とお買いものをしました。原発事故で、漁師が近海で魚を獲ることができない状態が続いています。復興に向けて、がんばっている福島と、それが出来ていない福島が見えました。

南相馬コース

浪江町で青田さんの話をきく

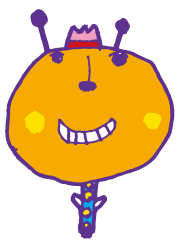
視察観光コースで、最も人気にあったのが、南相馬コースです。バスに添乗し、ぴーなっつの青田さんと石田さんが、震災からの事を話して下さいました。南相馬に向かう途中、飯舘村を通りましたが、すべての村民が避難して雑草が生い茂っています。除染作業中という看板が目立ちます。

南相馬市に入り、道の駅で休憩し、国道6号線を南下しました。福島第一原発から20キロ以内の旧警戒区域、双葉郡浪江町に入りました。人のいない静まりかえった町。許可を得て、請戸地区に入りましたが、打ち上げられた船が今もなお残されていて、2011.3月から時が止まったような光景でした。

津波で流された船

（会津地方の）アツ

視察・観光の様子


（浜通りの）ハマー

ありがとう 日本
ありがとう みんな
来年の全国大会は文明開化の地、神奈川・横浜で開会します。皆様を待っています。